

みつぎ便り

119号
8月号

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループと
エコポリスセンターの環境観察員地域自主活動グループに
所属しているボランティア団体「見次の会」です

平成28年8月1日 <http://itbs-ecopo.jp/projects/environsurvey/2013/000253.htm>

夏休み特集

クスノキじいじの独り言。2

そうそう、飛ぶ宝石といわれる『カワセミ』も時々きてくれるんじやよ。ボート乗り場のデッキの下に仮住まいして、中島の細い枝先にちよんと構え、やがて、さつと池に飛び込み、魚を捕らえるのじや。お日様の光がその背中に当たると、体がまさしくエメラルドブルーに輝くのじやよ。メスはおしゃれさんで、下唇に紅をさしとるんじや。晩秋にやってくる『ジョウビ



ジョウビタキ

タキ』も美しいのう。オスはりっぱな銀髪で引き締まった黒い顔、赤茶色の体に黒い翼、その中央に白い紋を付けておるのじや。この紋から、紋付鳥ともよばれておるようじや。この色合いはオスだけで、メスはまるでちがうんじやよ。全身、うすい茶色でとてもシックなんじや。やはり白い紋を付けとるがクリツとした可愛い瞳で見つめられると、ほら、胸が高鳴り、わしの枝葉がザワザワと動きだしてしまいうんじや。

5月の連休の頃から『ツバメ』も上空にきてるぞ。”土食って、虫食って、渋い”と言いなながら、ツバメ返しスピードで土や枯れ草をくわえて飛び回っておるぞ。カラスなどの天敵から人間が守ってくれそうな民家やタクシー会社などの軒下に巣を造り、ヒナを育てるのじやがなあ。この頃は彼らにとつての条件が悪くなる一方で、巣を見かけることも少なくなってしまったのう。おや、池の傍で尾をピョンピョンさせている友達がきておるぞ。板橋区の鳥『ハクセキレイ』じやな。時々遊びにきてくれるんじやよ。久しぶりじやなあ。木の葉



ツグミ

をひっくり返してエサを探していた『ツグミ』も、長い間公園におつたが、もう、国に帰ったようじやが、

また来年もきてくれるじやろう。わしは動けないが、多くの友達が元気に動き回っている姿を見ているのが、大好きなんじやよ。わしの楽しみがいつまでも続くよう、

いい環境を維持してくれるよう、皆の衆、よろしくお願いいたしますぞ！
(静)